

「福祉の農業ではなく、持続可能な農業を目指して」

～障害のある人も、そうでない人も一緒に行う有機農業～

NPO 法人 ラーフ・ウッド福祉会 理事長 萩原 数一さん（姫路市豊富町御蔭）

有機農業コース 2 期生（2017 年 8 月修了）

インタビュー日 令和 4 年 12 月

～なぜ有機農業をしようと思ったのですか～

ラーフ・ウッドでは、農園セラピーのような農業を利用して障害がある方が楽しく生活や仕事ができるように、福祉として野菜栽培を行っており必要な時は農薬も使用していた。

栽培している中で、障害者にとって農薬は大丈夫か、農薬を使った食べ物は本当に安全なのかななどの思いが強くなり、無農薬や有機農業に関心を持ち、兵庫楽農生活センターの有機農業コースを受講した。



～楽農生活センターで学んでいかがでしたか～

学ぶ前は有機農業を行うのは無理だろうと考えていたが、五島隆久先生（私の楽農生活 vol.7 で紹介）など実際に有機農業をやられている方と出会い、基本的な有機農業の技術等を教わったことで、実現の可能性を感じた。特に、五島先生の実証畑で BLOF 理論での栽培と他の農法との違いを学べたことは良かった。

有機農業にはそれぞれの地域性や天候などの違いで色々な農法や理論が有り、自分にとってどれが一番良いのかわからず戸惑い、これが農業の難しさだとも感じた。

～現在どのような農業をされていますか～

職員約 20 人、利用者約 50 人で農業を行っており、農地は約 9ha（ヘクタール）。全て有機栽培をしており、約 7ha は有機 JAS 認証を取得できている。

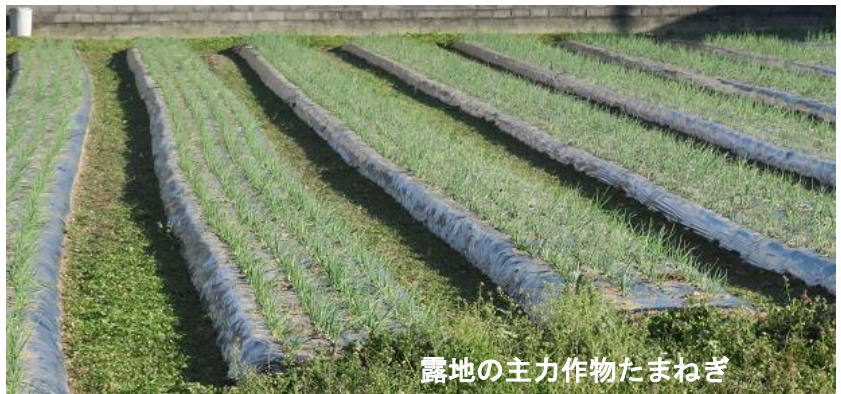
始めたころは村から苦情もあったが、今では理解していただき好意的に受け入れてくれている。村との関係が良好なことで、農地も全て村から頼まれて増やしており、毎年 1ha ほど増えている。

栽培はほとんど露地で玉葱・さつまいもがメイン、他にもニンジン、ほうれん草、レタスなど栽培している。有機認証の取れている畑と取れていない畑があるため、有機 JAS 認証シールを張らずに出荷しているので、タイミングを見てシールを貼って販売していきたい。



～現在の課題はなんですか～

どのように連作障害が起きないようにしていくかが課題で、3年前に連作障害を避けるため稲作に挑戦したが、雑草に負けて3分2をダメにした。稲作は大事だと考えているので、もっと勉強して時間かけて進めていきたい。



露地の主力作物たまねぎ

職員は2人兼業農家もいたが、ほぼ素人で始めた。今はネットなどで調べられるので色々な作物に挑戦できるが、病気や虫などの対策は農薬を使うのが前提になるものが多く、使わずにどう実践していくのが課題。

有機農業を継続していくための栽培技術力に加えて、もうひとつの重要な課題は、どのようにして出荷・販売するかである。

最初は、売込み先に収穫したものを持って行ったら売れると思っていたが、バイヤーから、いつ、どれくらい出荷できるか分からないと商談にならないと言われた。こちらは、収穫できるまでどのぐらいの量ができるかわからないので、何か問題が発生しても出荷できる余裕を持った栽培が必要だと分かった。



ニンジン



レタス

～今後について教えてください～

福祉優先の農業ではなく、福祉と農業が両輪になって進めていかなければと考えている。

農業として経営するためには売り上げを上げていく必要があり、ラフ・ウッドの強みは農作業に関わる沢山の人がいることなので、農地を広げることが収益向上につながる必要がある。1人で何haも経営している農家も多く、うちはその何十倍も人がいるのだから、面積を広げていけると考えている。



新築の作業所

また、面積を重視して事業を行うには、機械などの設備投資が必要。経営的には厳しいが、機械化しないとすべての農地への作付けが難しくなり、作業所を作らなければ出荷作業が遅れる。出荷しなければ経営として成り立たないので、今は無理をしても設備投資を行い、事業を伸ばしていきたい。

うちは農福でやっている（福祉サイドの支援がある）ので何とかやれているが、有機農業を経営としてやるのはかなり難しいと思う。今、有機農業で経営されている方は、すごい努力をされているのが良く理解できる。

～萩原さんにとっての農業とはなんですか～

ラーフ・ウッドの理念は「共生社会」と「ひとり一人を大切に」、誰もが一緒に暮らせ、誰もが一緒に仕事ができる社会を目指して活動している。百の仕事ができるから百姓というとおりに、農業には100の仕事があり、個々の障害や得意不得意に合わせて幅広く関われる農業は福祉とぴったり合っている。

ラーフ（笑う）・ウッドの由来の通り、障害の方も職員も一緒に笑顔で生き生きと楽しんでやれる、うちにとってそれが農業。

